

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で15ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

I 次の文章A～Cを読んで、後の問に答えなさい。

A 日本の古代国家は、古墳時代^㉑以来の伝統をもつ神祇祭祀を宗教的権威としていた。律令国家の頂点^㉒に立った天皇の職務の中心は、豊作を願って毎年2月に行われる など、全国の神社を対象とした祭祀を行うことであった。また、『古事記』や『日本書紀』によれば、天皇の権威は神々の直接の子孫であることによって保証されていた。しかし6世紀に朝鮮半島から仏教が伝来すると、一部で抵抗はあったものの、結局貴族や天皇家は積極的にそれを受け入れていった。 は飛鳥寺を創建し、次いで 天皇も百濟大寺を造営して、巨大な塔と金堂を備えた伽藍が作られた。さらに皇族の一人であった厩戸皇子(聖徳太子)も、同じ頃に地名にちなんで と呼ばれた法隆寺^㉓を創建している。こうした動きは奈良時代にも勢いを増し、聖武天皇^㉔の時代には全国の富を集めて盧舎那仏を造立し、あわせて東大寺の造営も実現した。この時代は天然痘が流行して全国で多くの人びとが亡くなったが、天皇が大仏造立を企図したのは、そうした社会不安を鎮めることが直接の契機となった。仏教は疫病を鎮めるための方策であり、国家の安定を図る切実な手段だった。

問1 空欄 に入る語句を漢字3文字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問2 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① ア 蘇我馬子 ウ 斑鳩寺 ② ア 蘇我馬子 ウ 山田寺
③ ア 蘇我入鹿 ウ 斑鳩寺 ④ ア 蘇我入鹿 ウ 山田寺

問 3 空欄 に入る語句として正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 用明 ② 推古 ③ 舒明 ④ 天智

問 4 下線部②に関して、古墳時代について述べた文 I、II について、その正誤の組合せとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- I 全国的に作られた前方後円墳では、前方部に墓室がつくられた。
II 奈良県の箸墓古墳には、すぐ近くに大規模な集落遺跡である纏向遺跡が存在する。

- ① I 正 II 正 ② I 正 II 誤
③ I 誤 II 正 ④ I 誤 II 誤

問 5 下線部⑥に関連して、法隆寺がつくられた7世紀の仏教作品として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 中宮寺半跏思惟像 ② 天寿国繡帳
③ 広隆寺半跏思惟像 ④ 不動明王二童子像

問 6 下線部⑦に関して、聖武天皇の時代の出来事として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 僧である玄昉が重用され、法王に任じられた。
② 田地の開発を促進するため、墾田永年私財法を実施した。
③ 藤原不比等の子である藤原宇合が亡くなった。
④ 橘諸兄が右大臣になった。

B 平安時代になると、御齋会という仏事が恒例になるなど、仏教の役割はますます大きくなった。9世紀前半には、それまでの南都六宗に加え、最澄や空海が新たな仏教を唐から伝えた。ことに嵯峨天皇は彼らの仏教を支持し、両者の勢力は次第に拡大していった。一方で、10世紀になるとさまざまな人物が登場し、仏教の教えは貴族の間に浸透していった。たとえば、市聖と呼ばれた は京で浄土の教えを説き、多くの貴族や民衆を感化していった。また慶滋保胤は比叡山での仏教組織に加わり、ついには官人の地位を捨てて仏門に入っている。

摂関時代から院政期にかけては、時の権力者が邸宅のすぐそばに寺院を建立し、^⑥ 貴族と仏教の関係が深まった。 天皇の時代を中心に活躍した藤原道長は法成寺を建立し、阿弥陀堂を中心に、盧舎那仏を安置した金堂などを含む大規模な寺院を造営する。さらに院政期になると、白河上皇や女院が相次いで白河や鳥羽に寺院を建立した。特に白河に営まれた には境内に壮大な八角九重塔がつくられ巨大な威容を誇った。さらに後白河法皇は鴨川の東に を造営し、その本堂である三十三間堂には多数の 像が安置されている。この時期には記紀神話と天皇との関係は希薄になり、仏教と王権との結びつきが強固になっていった。

問 7 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① エ 源 信 オ 一 条 ② エ 源 信 オ 醍 醐
③ エ 空 也 オ 一 条 ④ エ 空 也 オ 醍 醐

問 8 空欄 に入る語句を漢字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問9 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① カ 法勝寺 キ 千手観音 ② カ 法勝寺 キ 薬師如来
③ カ 尊勝寺 キ 千手観音 ④ カ 尊勝寺 キ 薬師如来

問10 下線部④について、嵯峨天皇の時代の出来事として正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 国司の監督を強化するため、蔵人頭が任命された。
② 承和年間に遣唐使が派遣されたが、これが最後の遣唐使になった。
③ 三代格式の一つである延喜格式が定められた。
④ 将軍に任じられた文室綿麻呂が蝦夷征討を実施し、徳丹城を築いた。

問11 下線部⑥に関して、この時期の出来事として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 摂関時代には律令制が衰退し、政務の実質は太政官を離れ、摂関家の私邸で行われるようになった。
② 藤原道長の時代には南都北嶺の勢力が大きくなり、僧兵を擁して朝廷に圧力をかけた。
③ 白河上皇は平安京の南に位置する鳥羽殿を使用した。
④ 院政期には公卿と呼ばれる貴族が自ら国司となり、知行国の制を採用して収入を確保した。

C 鎌倉時代や室町時代にも、幕府は仏教を背景として自らの権威を確立した。この時代、京都や奈良の旧仏教寺院も依然として勢力を維持したが、武家が傾倒したのは宋からもたらされた禅宗の教えであって、幕府は次々に禅宗寺院を鎌倉に建立している。それは厳しい修行により釈迦の境地に達しようとする教

えで、そうした教義が武士に受け入れられたのである。鎌倉時代には鎌倉五山の制が整えられ、その中には によって創立され蘭溪道隆が開山として招かれた建長寺、栄西が開山となった などが含まれている。一方、室町幕府でも足利氏によって などの禅宗寺院が整備され、幕府の宗教政策の基本となっている。禅僧は優れた文化の担い手になるとともに、幕府の政策に関与することもあった。

これらの時期はまた、仏教の教えが庶民に浸透していく時代でもある。特に鎌倉新仏教と称される新たな宗派は単純明快な教義を趣旨としたため、次第に多くの庶民や武士に受け入れられたが、その教えは時に幕府と対立することもあった。しかしそうした状況の中でそれらの勢力は次第に拡大し、室町時代に^① は大きな集団に成長することもあった。

問12 空欄 に入る人名として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 北条泰時 ② 北条時頼 ③ 北条時政 ④ 北条時宗

問13 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① ケ 極楽寺 コ 仁和寺 ② ケ 極楽寺 コ 相国寺
③ ケ 寿福寺 コ 仁和寺 ④ ケ 寿福寺 コ 相国寺

問14 下線部④に関して、この時期の出来事について述べた文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並べたものとして正しい組合せを、次の①～⑥の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 12)。

Ⅰ 蓮如によって開かれた寺内町山科が法華一揆の攻撃を受け、一向宗門徒が撰津石山に退去した。

Ⅱ 京都で勢力を拡大した法華宗門徒が比叡山の勢力と戦い敗れた。

Ⅲ 加賀の一向宗門徒が守護の富樫政親を討ち敗死させた。

① Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ

② Ⅰ - Ⅲ - Ⅱ

③ Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ

④ Ⅱ - Ⅲ - Ⅰ

⑤ Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ

⑥ Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ

Ⅱ 次の史料A・Bを読んで、後の問に答えなさい。

A 「当世の俗習にて、異国船の入津ハ に限たる事にて、別の浦江船を寄ル事ハ決して不成事ト思ならざるり、実に太平に鼓腹する人ト云べし、既に古ハ の坊の津、 の博多、肥前の平戸、^a 撰州の兵庫、泉州の界(堺)、 の敦賀等江異国船入津して物を献シ、物を商イたること数多あり、……当時 に嚴重に石火矢の備有て、却て安房・相模の海港に其備なし、此事甚不審、細カいぶかしに思へば江戸の日本橋より唐・阿蘭陀迄境なしの水路也、然ルを此そなはずに不備して へのミ備ルは何ぞや」(「海国兵談」)

問1は、解答用紙(その2)を用いること。問2～問6は、解答用紙(その1)を用いること(解答番号 ～)。

問1 空欄 に該当する地名を書きなさい。

問2 史料Aの著作について、作者は誰か。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 山県大弐 ② 会沢安 ③ 渡辺崋山 ④ 林子平

問3 この著作はその内容が政治批判ととらえられ、発禁処分となったが、これと最も近い時期に弾圧された人物は誰か。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 山東京伝 ② 平田篤胤 ③ 高野長英 ④ 吉田松陰

問 4 この著作が執筆された時期にもっとも近い出来事として適切なものを、次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 [15]

- ① スペイン・ポルトガル船が来航し、南蛮貿易がさかんにおこなわれた。
- ② イギリス船が日本近海に頻繁に出没し、騒動を起こしたため、沿岸警備を強化するとともに、異国船打払令が発令された。
- ③ ロシア使節が通商をもとめて根室に来航した。
- ④ ベリーが浦賀に来航し、アメリカ大統領の国書を提出して、開国をもとめた。

問 5 下線部 a は、著者が執筆当時において、「古(いにしえ)」のこととして述べている部分である。これに関連して、以下の設問に答えなさい。 [16]
～ [18]

(1) 空欄 ～ に該当するものはどれか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 [16]

- ① ア 越前 イ 肥前 ウ 筑前
- ② ア 薩摩 イ 筑前 ウ 越前
- ③ ア 日向 イ 肥後 ウ 筑後
- ④ ア 豊後 イ 筑後 ウ 越後

(2) 中世の商品流通の実態を伝える「兵庫北関入船納帳」は、1445年1月から1446年1月までの兵庫北関の関銭収入を記録した帳簿であると考えられている。このとき兵庫北関を管轄していたのはどこか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 [17]

- ① 興福寺 ② 東大寺 ③ 薬師寺 ④ 大徳寺

(3) 日明貿易で繁栄した港町である堺で、自治的町政を主導した36人の豪商をなんというか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。

18

- ① 会合衆 ② 寄親 ③ 両替商 ④ 蔵元

問6 下線部bは中国のことを指すが、この著作の執筆当時の王朝名はなにか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 19

- ① 宋 ② 元 ③ 明 ④ 清

B 「い」とハ海外の夷賊日本をねらひ候患に御座候、甲府・大坂等にて徒党を企て乱妨仕候てさへ人々苦勞つかまつらずにも不仕、尚更数万里外の夷狄より日本をねらひ候儀を苦勞にいたし候へバ、狂人の様にあざけり候儀当時の世風に御座候へども、能々深思熟慮仕候へバこのいほど油断不成儀ハ無之候」(「戊戌封事」)

問7～問11は、解答用紙(その1)を用いること(解答番号 20 ～ 24)。

問12は、解答用紙(その2)を用いること。

問7 史料Bは、1838年に執筆され、翌年將軍徳川家慶に提出された意見書の一部である。この意見書を書いたのは誰か。次の選択肢の中から一人選んでマークしなさい。 20

- ① 徳川宗勝 ② 徳川慶喜 ③ 徳川斉昭 ④ 徳川光圀

問8 下線部bは、甲斐国で発生した大規模な世直し騒動を指している。それに該当するものを、次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 21

- ① 嘉助騒動 ② 加茂一揆 ③ 三閉伊一揆 ④ 郡内騒動

問 9 下線部 c について、大坂で発生した事件の首謀者が主催した家塾はどれか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 22

- ① 洗心洞 ② 適塾 ③ 松下村塾 ④ 懐徳堂

問10 下線部 c の事件に刺激されて、同じ時期に発生した事件はどれか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 23

- ① 島原の乱 ② 赤穂事件
③ 生田万の乱 ④ 八月十八日の政変

問11 この「戊戌封事」が書かれた年と、もっとも近い時期に発生した事件はどれか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。 24

- ① フェートン号事件 ② サン＝フェリペ号事件
③ モリソン号事件 ④ 四国艦隊下関砲撃事件

問12 空欄 に該当する、当時の対外的危機を象徴することばを漢字 2 文字で書きなさい。

III

以下の史料A・Bを読んで、後の問に答えなさい。

【史料A】

我朝上古ノ制、海内拳テ兵ナラサルハナシ。……固ヨリ後世ノ雙刀ヲ帯ヒ武士ト称シ、抗顔坐食シ、甚シキニ至テハ、人ヲ殺シ官其罪ヲ問ハサル者ノ如キニ非ス。……然ルニ太政維新列藩版図ヲ奉還シ、辛未ノ歳ニ及ヒ遠ク郡県ノ古ニ復ス。世襲坐食ノ士ハ其禄ヲ減シ、刀劍ヲ脱スルヲ許シ、四民漸ク自由ノ権ヲ得セシメントス。是レ上下ヲ平均シ、人権ヲ齊一ニスル道ニシテ、則チ兵農ヲ合一ニスル基ナリ。……凡ソ天地ノ間一時一物トシテ税アラサルハナシ。以テ国用ニ充ツ。然ラハ則チ人タルモノ固ヨリ心カヲ尽シ国ニ報セサルヘカラス。西人ノ之ヲ称シテ ト云フ。其生血ヲ以テ国ニ報スルノ謂ナリ。……西洋諸国、数百年来研究実践以テ兵制ヲ定ム。……故ニ今其長スル所ヲ取り、古昔ノ軍制ヲ補ヒ、海陸二軍ヲ備へ、全国 ニ至ル者ハ尽ク兵籍ニ編入シ、以テ緩急ノ用ニ備フヘシ。……(法令全書)

問 1 この史料の下線部⑦の 1871 年に行われた地方統治制度改革のことを何と
いうか、漢字 4 文字で記しなさい。解答用紙(その 2)を用いること。

問 2 この史料の空欄 にあてはまる語句を記しなさい。解答用紙(そ
の 2)を用いること。

問 3 この史料の空欄 にあてはまる語句を、次の選択肢の中から一つ
選び、マークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号)。

- ① 士族男児二十歳
- ② 四民男児十七歳
- ③ 士族男児十七歳
- ④ 四民男児二十歳

問 4 この史料に表れている近代的な軍隊の創設についての構想を示しながら攘夷派に斬られた人物の説明として正しいものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **26**)。

- ① 熊本藩出身。松平春嶽の政治的な顧問となった。
- ② 政党政治家として活躍する。東京市会議長もつとめた。
- ③ 長州藩出身で、幕末、長州の軍事力増強に努めた。適塾で学んでいる。
- ④ 薩摩藩出身。参議兼内務卿などもつとめた。暗殺事件は「紀尾井坂の変」ともいわれる。

問 5 この史料に基づいて定められた制度には、合法的に免除を受ける規定があった。免除が認められる者として誤っているものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **27**)。

- ① 戸主やその相続者
- ② 官吏
- ③ 私立学校の教師
- ④ 代人料 270 円を納める者

問 6 下線部①の考えは、「四民平等」に通じるが、新たな族籍にもとづき、1872年に編成された戸籍は何戸籍と呼ばれているか、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **28**)。

- ① 癸丑
- ② 庚午
- ③ 庚寅
- ④ 壬申

問 7 この史料の下線部②海陸二軍に関連して海軍省・陸軍省に分離される前の名称を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **29**)。

- ① 兵部省
- ② 鎮台
- ③ 御親兵
- ④ 近衛兵

問15 「問14」の国がドイツと友好関係を強めた契機となった出来事を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 35)。

- ① ドイツのポーランド侵攻
- ② スペイン内戦
- ③ 国際連盟の結成
- ④ 世界恐慌

問16 この史料が締結された年、日本政府が国策と決定した中国に対する政策を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 36)。

- ① 華北分離
- ② 東亜新秩序建設
- ③ 満州国建国
- ④ 旧ドイツ権益の継承

問17 この史料の下線部⑦共産主義に関連して、田中義一内閣の時に日本共産党員を一斉検挙した事件を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 37)。

- ① 花岡事件
- ② 三・一五事件
- ③ 大逆事件
- ④ 帝人事件

問18 「問17」の事件と同年に治安維持法を改正して、最高刑が死刑・無期とされたが、その対象者を次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 38)。

- ① 「私有財産制度」の否認を目的とする結社の組織者
- ② 「国体」の変革を目的とする結社の組織者・指導者
- ③ 「国体」の変革を目的とする結社の組織者・指導者及び「私有財産制度」の否認を目的とする結社の組織者
- ④ 「国体」の変革を目的とする結社の組織者・指導者、「私有財産制度」の否認を目的とする結社の組織者及び前記の目的の実行に関し協議した者